

委員会評価報告書

事業名	教育支援センター運営事業（令和3年度実施）				
担当課・室・係	学校教育課・学校教育係				
事業の目的	市内の小学校又は中学校に在籍し、心理的な要因等により不登校状態にある児童・生徒に対して、社会的自立を促すことを目的とする。				
事業の概要	不登校の小中学生に対する支援の充実を図るとともに、支援センターの機能拡大を図る ①「教育支援センター」として ・不登校児童生徒の受け入れ、作業活動や体験活動の実施 ②「不登校対策センター」として ・市内の不登校児童生徒の把握、個別の対応策構築及び、学校、市教委との連携 ③「相談支援センター」として ・不登校児童生徒のカウンセリング、保護者や教職員からの相談 ④「学習支援センター」として ・個に応じた学習支援の実施、受験対策 ・その他社会的自立を促すために必要な支援及び指導 ⑤「教職員研修センター」として ・いじめ不登校に関する研修実施				
事業結果に対する評価	A きわめて良好	B 良 好	C おおむね適正	D 問題がある	E かなり問題
【問題点など】 通所者に対してはしっかり支援できており、進学率からも事業結果は「良好」と認められるが、以下の問題点も考えられる。 市内に1箇所しかないため、通所したくてもできないケースがある。 不登校児童生徒の約3割しか通所に至っておらず、また、保護者と相談さえできていないケースもある。					
事業の今後の方向性	1 拡 充	2 継 続	3 改 善	4 縮 小	5 休止・廃止
【提言など】 多くの不登校生が通所できるよう、コミュニティバスや路線バス、JRとの連携ができないか働きかけること。 三重町以外の各町で月に一度など定期的な開室ができないか検討すること。 全ての不登校の子どもが社会的自立できるよう、さらに関係機関と連携し、粘り強く、相談活動を行っていただきたい。そのために必要な専門職の配置について検討すること。					